

# 鎌倉市SDGsつながりポイント かわら版



鎌倉市SDGsつながりポイントは鎌倉市で導入されている、人と人をつなげるコミュニティ通貨です（「まちのコイン」というアプリを利用します。コインの単位は「クルッポ」）。このかわら版では、鎌倉市SDGsつながりポイントを通じて地域の人とつながりができた！という体験談などをお伝えします。

「クルッポアワード2023」は2023年度に活躍したクルッポのユーザーやスポットを表彰する式典。1年間で利用回数の多いユーザーとスポットのトップ3の方々と新人賞、SDGsに関するさまざまな賞を受賞されたみなさんをお招きして、商工会議所地下ホールにて表彰式を開催しました。



## クルッポアワード2023が開催されました

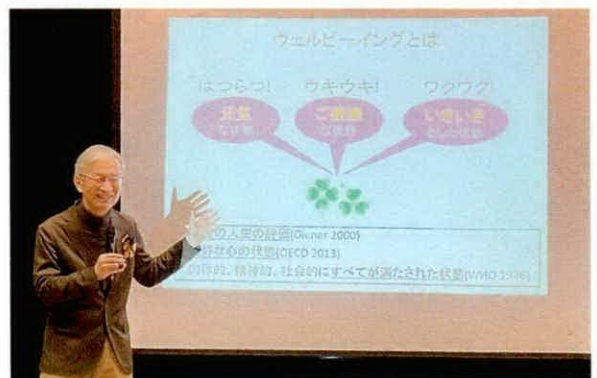
ユーザー部門1位は年間6702回クルッポを利用した「楽毅」さん。コインの流通量が一番多い「クルッポの達人賞」、チェックイン体験が一番多い「まち歩き名人賞」、しげんポストの利用が一番多い「プラごみリサイクルエキスパート賞」も同時受賞です。しげんポストとは、慶應義塾大学と鎌倉市が進めているプロジェクトで、使用済みの詰め替え用洗剤パックを椅子やプランターなどの新しい「しげん」に変える新しいリサイクルの仕組み。「楽毅」さんは、日頃からご自宅だけでなく、ご近所さんからも使用済み詰め替え用洗剤パックを集めてきて、しげんポストに入れていたのだそう（！）

マイボトル愛好家賞を受賞した「どんどこ」さんは中学生。お母さんと一緒に参加してくださいました。使い捨てプラスチックごみの削減のため市内26箇所に設置された、マイボトルに水を入れることができる給水スポットを年間で661回も利用されました。

スポット部門1位のJR東日本大船駅は年間で3754回利用がありました。駅構内に掲示されている駅長からのメッセージを読んで感想を送ったり、整列乗車やエレベーターを護るとクルッポがもらえます。そして、1日2〜3構内を回っている駅長さんに声をかけると1000クルッポがもらえるのだとか！平日10時〜17時限定で運が良ければもらえるレアな体験です。

さらに、SDGs貢献スポットフードロス削減賞として「軽費老人ホームきしろホーム」が選ばれました。きしろホームでは消費期限の近い保存食をクルッポ

と交換できます。この体験がたくさん利用され、年間でのフードロス関連の利用が合計3477回もありました。それだけでなく、海藻洗いや海藻干しなど季節の手仕事などのお手伝いでクルッポがもらえる体験も定評があります。



今回のアワードでは授賞式だけでなく、クルッポのデータを分析して、利他的な活動や人と人をつなげる活動をつくる活動をたくさんするとウェルビーイングが高まるという研究をしてくださった観音大学保井先生が広島からお話にきてくださったり、これまでの3年間の活動を振り返る時間があったり、賑やかな会となりました。

クルッポは2024年1月にサービスを開始3周年を迎え、4年めに入りました。これからも鎌倉に関わる人々が、まちへ愛着を増すきっかけとなる営みをさらに促進していきたいと思えます！